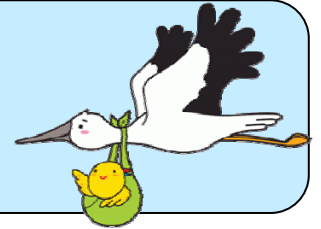


ひょうご

子ども未来通信7月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html

第2回 こども環境フォーラム(6/26)

子どもたちが環境活動の成果を発表

子どもたちの環境活動の裾野を広げる取組として6月26日に県公館で「第2回兵庫県こども環境フォーラム」が開催されました。

同フォーラムは、平成20年7月に開催されたG8環境大臣会合のサイドイベント「こども



開会あいさつに立つ金澤副知事

環境サミット in KOBE 2008」の成果を継承する取組の一環として開催しているもので、今年は県内の小中学生5グループが「理想のエコタウン」をテーマに、森や河川など自然との共生の実現のため努力すべきことを子どもならではの視点で発表しました。



また県立淡路景観園芸学校の中瀬勲学校長が、生物の多様性や人と自然との共生についての基調講演を行いました。

(問) 県環境政策課 078-362-9895

子どもの生活習慣づくり行動指標の策定に向けた委員会を開催(6/9)

子どもの生活習慣の確立を目的とした行動指標を策定するため、専門家らで構成される委員会が、神戸市内で開催されました。

会議では、伊藤篤・神戸大学大学院教授(同委員会委員長)ほか4名の専門家委員と保育所・幼稚園の代表など9名のプロジェクト委員が、睡眠・食・あそびの3分野における子どもの生活習慣にかかる行動指標の策定、実践に向けた議論を行いました。



伊藤・神戸大学大学院教授

委員からは「指標は生活リズムが乱れている家庭も取り組めるものに」

「実践につながる内容にすべき」などの意見が出されました。

今後、同委員会による会議を重ねるとともに、保育所・幼稚園・小学校でのモデル実施を経て、本年12月頃までに指標を策定し、普及の取組を進めていきます。(問) 県少子対策課 078-362-4232



平成22年度男女共同参画週間記念事業フォーラム(6/24)

「婚活」をテーマに山田昌弘 中央大学教授が講演

6月23日から29日の「男女共同参画週間」にあわせ、県民をはじめ事業者・団体、行政等が一体となって男女共同参画づくりに取り組む契機とするためのフォーラムが県公館で開催されました。

“パラサイトシングル”や“婚活”などの流行語を生んだ家族社会学者の山田昌弘・中央大学教授が「結婚に何を求め



る?～少子化時代の婚活事情～」をテーマに講演しました。

「現代日本の未婚社会到来の背景には、若者の非正規雇用などによる経済格差や、夫は仕事、妻は家庭という伝統的な性別役割分担へのこだわりなどがある」「若者の経済力の安定や、働きながら結婚・出産しやすい環境を整備することで、男女共同参画の大切さに気づき、それが意識変革へとつながり、結果的に婚活への早道となる」「待っていても相手は来ない、まずは積極的な行動が必要」と330名の参加者に力強く語りかけました。

(問) 県立男女共同参画センター078-360-8550

県立いえしま自然体験センター 子ども海辺の環境リポーター事業

同センターでは、小学5・6年生及び中学1年生が、海の生物や海藻、植物など興味深いものをレポートし、学校や家庭での継続した調査・研究を通して環境を学ぶ「子ども海辺の環境リポーター事業」を実施しており、今年度はアドバンスコースに5人の生徒が挑戦しています。

同コースは昨年度にスタンダードコースを修了した生徒が継続して調査・研究する特別課程で、生徒たちは海藻、ヒトデなど各自の研究テーマに取り組んでおり、3月に最終報告を予定しています。



(問) 県立いえしま自然体験センター079-327-1508

育児・介護休業法が改正されました

仕事と子育ての両立支援等を一層進めるため、育児・介護休業法が改正されました。(施行日：平成22年6月30日)

<改正のポイント>

- 3歳までの子を養育する労働者が希望すれば利用できる短時間勤務制度(1日原則6時間)を設けることが事業主の義務になります。
- 3歳までの子を養育する労働者は、請求すれば所定外労働(残業)が免除されます。
- 子の看護休暇の取得可能日数が、小学校就学前の子が1人であれば年5日、2人以上であれば年10日になります。
- 母(父)だけでなく父(母)も育児休業を取得する場合、休業可能期間が1歳2か月に達するまで(2か月分は父(母)のプラス分)に延長されます。
- 配偶者の出産後8週間以内の期間内に、父親が育児休業を取得した場合には、特別な事情がなくても、再度の取得が可能となります。

地域女性団体ネットワーク会議(6/25)

子育て支援や家庭応援の取組について話し合うため、地域の女性団体等(18団体)の代表者による会議が開催されました。

会議では、登下校時の見守りや声かけ、食育事業の開催など、各団体の特色を生かした様々な子育て支援の取組について報告がありました。

また、今後の子育て支援活動への取組について、積極的な意見が交わされました。

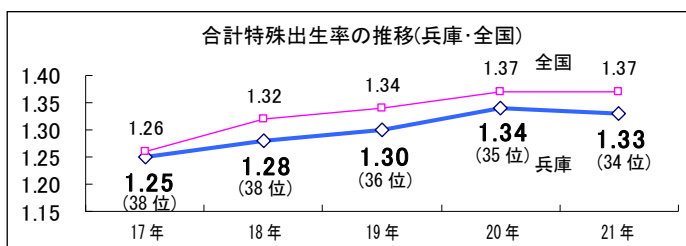
(問) 県少子対策課 078-362-4185



21年 県合計特殊出生率1.33に 全国 34位

厚生労働省が2日発表した資料によると、本県の平成21年の合計特殊出生率は前年とほぼ横ばいの1.33で、全国順位は昨年(20年)の35位から34位へ上昇しました。全国の合計特殊出生率は1.37で昨年と同じでした。

21年は、団塊ジュニア世代をはじめとした30代以降の出生率が増加したものの、20代の出生率が減少したため、全体ではほぼ前年並みとなりました。また、平均初婚年齢は男性30.2歳、女性28.6歳と前年からともに上昇し、晩婚化が進んでいることがうかがわれます。



(問) 県少子対策課 078-362-4183

22年版 子ども・子育て白書を公表(内閣府)

内閣府は5月25日、22年版子ども・子育て白書を公表しました。

白書では、少子化対策の現状について「目に見える成果として生活の中で実感できない」、「子育てをする親や子どもなど当事者が希望をかなえられる環境整備、男女ともにワークライフバランスの実現が重要である」と指摘しています。

また、子ども・子育て施策に関するニーズについては、経済的支援の充実や子どもを預かる事業の拡充、育児休業や短時間勤務など働き方の見直しについての要望が高くなっていると分析しています。

ひょうご絵本プロジェクト

ひょうご絵本フォーラム ～絵本がつなぐ心と心～

すぐれた絵本文化を伝承し、ひょうごの未来を担う子どもたちの夢と想像力を育む「ひょうご絵本フォーラム」を県内各地で開催します。

絵本作家の永田萌さん、黒井健さん、大内曜子さんから絵本の魅力や素晴らしさについて、直接お話いただける絶好の機会です。ぜひ、ご参加ください。

◇全県絵本フォーラム（絵本のかえっこバザール同時開催）

- 日時：8/7(土) 13:30～15:30
- 内容：黒井健さんの講演と黒井健さん・永田萌さんの対談
- 場所：兵庫県公館（神戸市中央区）
- 申込：郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号を明記のうえ、はがき、メール、FAXで県少子対策課（〒650-8567（住所不要）、メール：shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp）（フリーメール不可）までお申込ください。（定員 200 人）

◇地域絵本フォーラム

地域	日時	場所	問合せ
阪神南	7/3(土) 13:30～15:30	尼崎女性センター・トレピエ	阪神南県民局県民協働課 TEL06-6481-4397
阪神北	9/2(木) 13:30～15:00	川西市みつなかホール	阪神北県民局県民協働課 TEL0797-83-3136
東播磨	8/2(月) 13:30～15:30	加古川市民会館	東播磨県民局加古川健康福祉事務所 TEL079-421-9292
北播磨	9/7(火) 10:00～12:00	加西市立善防公民館	北播磨県民局加東健康福祉事務所 TEL0795-42-9355
中播磨	9/29(水) 13:00～15:00	イーグレ姫路	中播磨県民局中播磨健康福祉事務所 TEL079-281-9207
西播磨	7/17(土) 10:30～12:30	龍野経済交流センター	西播磨県民局龍野健康福祉事務所 TEL0791-63-5150
但馬	7/24(土) 13:30～15:30	出石永楽館	但馬県民局豊岡健康福祉事務所 TEL0796-26-3654
丹波	10/2(土) 13:30～16:00	丹波市立中央公民館	丹波県民局丹波健康福祉事務所 TEL0795-73-3754
淡路	9/16(木) 10:00～12:00	洲本市文化体育館	淡路県民局洲本健康福祉事務所 TEL0799-26-2059

第2期 ひょうご絵本の伝承師養成講座 **姫路会場**

第1期（神戸会場（7/16～））には定員 80 名のところ 431 名から応募があり、抽選で選ばれた 120 名の方に講座を受講していただくことになりました。

第2期は、姫路市の県立こどもの館で、絵本作家の永田萌さん、黒井健さん、大内曜子さんを講師に迎え、絵本の選定や読み聞かせの指導を行う講座（受講料無料）を開講します。

- 日程：10/1(金)～11/12(金)（全5日間、10回）
- 場所：県立こどもの館（姫路市太市中）
- 定員：80人（応募者多数の場合は選考）
- 申込：8/20(金)までに「私の出会った大好きな絵本」をテーマにした作文（400字程度）と氏名、住所、電話番号、年齢、性別を記載し郵送（〒671-2233 姫路市太市中 915-49 県立こどもの館）またはメール（kodomonoyakata@pref.hyogo.lg.jp）で（フリーメール不可）

（問）県立こどもの館 079-267-1153

家庭などで不要になった絵本はありませんか？
絵本のかえっこバザールを開催します！

古くなった絵本を交換する「絵本のかえっこバザール」を実施します。

【日時】7月24日(土) 25日(日)

8月21日(土) 22日(日)

各日とも 10:00～16:00

その他、県内各地で開催する絵本フォーラムやこどもの館等で開催する予定です。

【場所】県立こどもの館（姫路市太市中）2階展望ロビー

【その他】参加費無料、申込不要

絵本の収集期限は平成 23 年 3 月 31 日まで

まちの寺子屋師範塾（7月に申し込める主な講座）

県内各地で子育て支援を行うボランティアの裾野を広げるため、大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。（受講料：無料）

関西福祉大学

乳幼児から思春期までの
子育て支援を巡って

発達障害を抱える子どもの理解と支援、乳幼児の子育て支援、児童期（小学校）の子育て支援 など

◆開催日：7/18(日)、8/20(金)、9/26(日)、10/31(日)

◆募集期間：6/14(月)～

◆問合せ・申込：0791-46-2525

◆募集人員：50名（先着順）

※資料代等別途 1,000円要

神戸夙川学院大学

アートを楽しみながら
観光教育

教育効果のある Educational Tourism、アートによる観光振興事例、六甲ミーツアートでワークショップ など

◆開催日：9/7、9/14、9/21（いずれも火曜日）

◆募集期間：6/14(月)～8/31(火)

◆問合せ・申込：078-940-1154

◆募集人員：40名（先着順）

※入場料等別途要

神戸山手短期大学

子どもと楽しむアート

手作りおもちゃ、心を育てる演劇あそび など

◆開催日：9/4、9/11（いずれも土曜日）

◆募集期間：7/1(木)～

◆問合せ・申込：078-351-7170

◆募集人員：30名（先着順）

姫路獨協大学

遊び体験！

遊びで育む障害のある子どもたち

子どもの育ちと遊び、肢体不自由児の子どもたちへの遊び、発達障害の子どもたちへの遊び など

◆開催日：10/7、10/14、10/21（いずれも木曜日）

◆募集期間：7/21(水)～

◆問合せ・申込：079-223-6593

◆募集人員：20名（先着順）

市町の取り組み

芦屋市 「あい・あいるーむ」

芦屋市では、図書館など公共施設の一部屋を利用し、乳幼児を持つ親子が気楽に集える場所「あい・あいるーむ」を市内4か所で開設しています。

「芦屋に引っ越して来たが、地域のことが分からない」「子育ての相談はどこにすればいいのか」など悩みを抱える若いお母さん達の良き話し相手になればと、主任児童委員と民生委員・児童委員がメンバーを組み、第1～第4水曜日にオープンしています。スタッフには助産師も参加しており、子育てや子どもの健康について相談に応じるなど、大変好評を得ています。

時間はいずれも午前10時～11時半で料金は無料です。ぜひご利用ください。



(問) 芦屋市こども課 0797-38-2045

宍粟市 「ふれあい喫茶 DE 放課後子ども教室」

宍粟市では、放課後子ども教室事業と連携した取り組みとして、21年度より、子どもたちが受付、調理や配膳の手伝い、ゲームの進行など運営の手伝いを通じて、地域の大人たちと交流する「ふれあい喫茶 DE 放課後子ども教室」を実施しています。

“仕事”を任された子どもたちは自分の役割を果たすことで責任感が生まれ、交流するお年寄は子どもたちと接することで笑顔があふれるなど、相乗効果が生まれています。

現在自治会など、40団体がこの事業に協力しており、今後とも協力団体の拡充を図っていきます。



(問) 宍粟市教育委員会社会教育課 0790-63-3117

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

国際ソロプチミスト淡路（淡路市）

～親と子のふれあい広場を開催（5月30日）～

国際ソロプチミスト淡路（打越孝子 会長）は、親子が自然の中で楽しいひとときを過ごす「親と子のふれあい広場」を淡路市塩田の淡路ワールドビレッジで開催し、親子約200名が参加しました。

当日は、親子で一緒に「淡路のカレー」づくりに挑戦。淡路たまねぎや淡路ビーフをたっぷり使ったおいしいカレーにみんなで舌鼓を打ちました。また、流しそうめんやガールスカウトによる巨大シャボン玉ゲーム等の他、柳学園生のジャズ演奏や、県立淡路高校生による野点、ぬしま保育園の子ども達によるお遊戯発表など様々なパフォーマンスも行われ、親子そろって楽しい一日を過ごしました。



NPO法人【仕事と子育て】カウンセリングセンター 「“輝く私”神戸RICステーション」を開設

<http://www.shigoto-kosodate.net/ric/index.htm>

NPO法人【仕事と子育て】カウンセリングセンター（坂東真理子 理事長）は、P&G ジャパン株式会社（桐山一憲 代表取締役）と共同で、神戸市東灘区の六甲アイランド内に全国初となる育児休業者・復帰希望者支援のためのカウンセリング・情報提供施設「“輝く私”神戸RICステーション」を開設しました。

ステーションでは、出産・育児期の女性が仕事と子育ての両立に対する不安や悩みなどについて、専門のカウンセラーによるカウンセリングを受けられるほか、仕事と子育ての両立体験者や社員の育児休業取得に積極的な企業の管理職による講演、子育てに役立つ情報提供などを予定しています。

また、自治体からの仕事と子育て情報や、地元企業が提供する生活に役立つ商品情報などを発信していくこととしています。（問）同ステーション 078-857-3223



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課) : E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp